

『月刊まなぶ』連載200回記念出版

## 元戦場カメラマンの視点 命どう宝(いのちこそたから)



元戦場カメラマンの視点  
命どう宝  
いのちこそたから  
石川文洋

石川文洋/著 四六版 160頁  
定価1,700円(本体+税)

※別途送料がかかります

石川文洋さんが『月刊まなぶ』で連載を始めたのは2008年1月。そこから18年に渡り戦場カメラマンとして反戦・平和を訴え続け、2026年1月で連載は200回を超えました。本書はこの200回の連載記事のなかから編集部が厳選した70回分を掲載しました。永久保存版とも言えるこの1冊。ぜひ多くの方に手に取っていただきたいと思います。

## 平和な社会をめざし走りぬく！

文洋さんはこれまでベトナムをはじめ、ラオス、カンボジア、ボスニア・ヘルツェゴビナ・ソマリア、アフガニスタンなど多くの戦争を見てきた。戦争は政治家や軍隊が始め、あらゆるものを破壊し、老人や女性、子どもたちなど多く人が傷つき死んでいく。特に多くの夢や希望を持った子どもたちの命を奪う戦争の残酷さを訴えてきた。文洋さんは沖縄戦を直接体験していないが、親族が戦没し、また沖縄戦体験者から伝えられてきた沖縄の言葉「命どう宝」(命が一番大切な宝)を伝え続けている。

本書『生涯現役カメラマン』弱い立場の視点から報道 写真家 大城弘明より

## 元戦場カメラマンの視点 命どう宝

申込書

年 月 日

〒 ー	
住所	
団体名	
氏名	TEL
	FAX
支払い方法 労働大学から商品と併せて請求書(送料を含む)を発行いたしますので郵便振込みまたは労金口座にお支払下さい。	

定価(税込・送料別)	数量	金額	備考欄
1,700円			
10冊以上1,600円			

\* 本誌は、税込・送料別です。